





取扱説明書

バイポーラ電源

BWA25-1

安全にご使用いただくために

- ◆  安全を確保するために、本体の  マークの部分については必ず取扱説明書を参照して下さい。
 - ◆  本体に  マークの付いている場合は高電圧（DC650V以上）が出力されていますのでご注意下さい。
- ◆ 指定の動作電源（AC電源）でご使用下さい。
 - ◆ 安全のため必ず接地して下さい。
 - ◆ 2P-3P変換アダプターを使用するときは緑色のコードを接地して下さい。
 - ◆ 使用する機器の入力電流に合った導体断面積のケーブルを使用して下さい。
 - ◆ ヒューズ交換の際は、必ず電源スイッチを切り、電源ケーブルを配電盤より外して行って下さい。
 - ◆ ヒューズ交換の際は、火災防止のため指定のヒューズをご使用下さい。
 - ◆ 強制空冷の機種は空気取り入れ口と背面のファンモーター部分をふさがしないで下さい。
周囲温度 0~40℃、湿度10%~90%、腐食性ガスのない室内で使用して下さい。
 - ◆ 本体内部には高電圧を発生する部分があります。本体のカバーを取り外さないで下さい。
内部清掃のため本体のカバーを取り外すように取扱説明書に指示されている際は、必ず電源スイッチを切り、電源ケーブルを配電盤・コンセントから外して作業を行って下さい。
 - ◆ 振動のある場所では使用しないで下さい。
 - ◆ 本器は専門家によって使用されるように設計されています。出力端子、または背面コントロール端子に感電のおそれのある電圧が出力されている部分があります。ご注意下さい。
 - ◆ 背面コントロール端子を使用する際は、電源スイッチを切ってから結線して下さい。
また本書の《注意》を守って下さい。
 - ◆ 端子用安全カバーは必ず取り付けて下さい。
 - ◆ 直流電源で直列制御方式の回路を使用している機種は、内部のトランジスターが破損すると過電圧が出力される場合があります。過電圧防止機能のない機種は過電圧防止アダプターを使用することで過電圧の発生をごく短時間におさえることができます。詳細についてはご相談下さい。
 - ◆ AA/Fシリーズで出力電圧を125V以上の設定をした場合はACアウトレット（コンセント）を使用しないで下さい。

BWA25 - 1形 バイポーラ電源

取扱説明書

概説

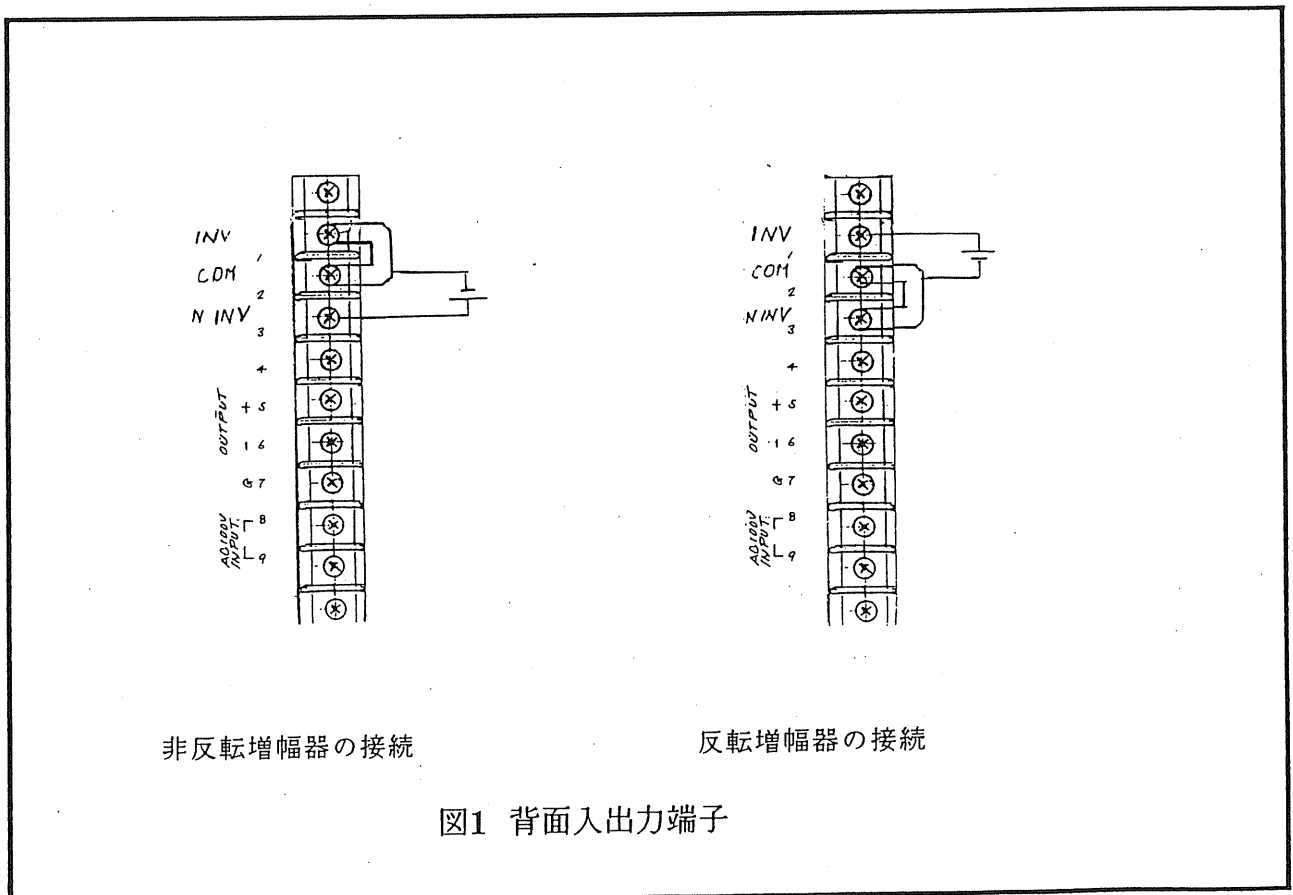
本機は、入力信号を反転または非反転増幅した電圧を取り出すことができる、バイポーラ電源です。

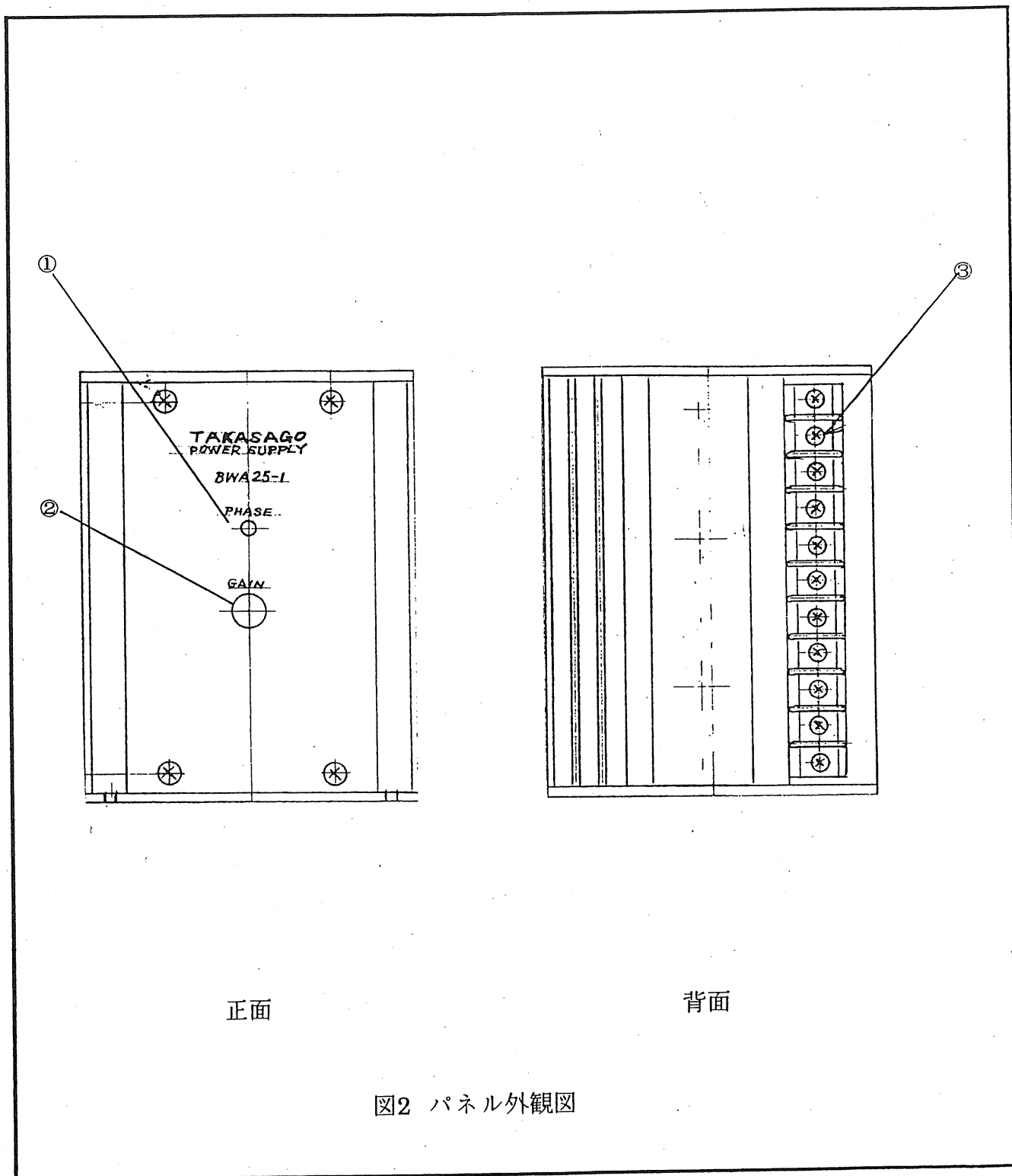
仕様・規格

1. 最大出力電圧 $\pm 25\text{V}$
2. 最大出力電流 $\pm 1\text{A}$
3. 電圧増幅度 $0\sim +10$ 倍または $-5\sim -15$ 倍
4. 出力電圧オフセット $\pm 1\text{mV}$ 以下
5. 出力電圧安定度 $0.1\% \pm 1\text{mV}$ 以下 (電源変動または負荷変動に対して)
6. レスポンス $10\mu\text{S}$ 以下 (定格負荷)
ステップ入力信号に対し、出力電圧が最終値の90%に達するまでの時間
7. 全高調波歪率
100Hz 0.05% 以下 (純抵抗負荷, $17.7\text{V}_{\text{RMS}}$, $0.707\text{A}_{\text{RMS}}$ 出力時)
1kHz 0.1% 以下 (純抵抗負荷, $17.7\text{V}_{\text{RMS}}$, $0.707\text{A}_{\text{RMS}}$ 出力時)
10kHz 0.5% (TYP) (純抵抗負荷, $17.7\text{V}_{\text{RMS}}$, $0.707\text{A}_{\text{RMS}}$ 出力時)
8. 周波数特性 DC~50kHz (純抵抗負荷, $17.7\text{V}_{\text{RMS}}$, $0.707\text{A}_{\text{RMS}}$ 出力時)
+0dB
-3dB
9. 信号入力インピーダンス 約 $10\text{k}\Omega$
10. 最大信号入力電圧 $\pm 15\text{V MAX}$
11. 保護装置 過電流 ($\pm 1.2\text{A} \pm 0.15\text{A}$)、
過温度 保護回路 (自動復帰型)付
12. 入力電源 AC100V $\pm 10\%$ 50/60Hz
13. 最大入力電力 約70VA
14. 寸法・重量 $100(\text{W}) \times 130(\text{H}) \times 225(\text{D})\text{mm}$ 約3.5kg

使用方法

1. 負荷を出力端子に⑤と⑥ (OUTPUT) の極性に従って接続してください。
(②と⑥は、共通です)
2. 反転増幅器として御使用の場合は、②と③ (COM-N. INV) を短絡して①と② (INV-COM) 間に信号電圧 ($\pm 15V$) max を接続してお使いください。(①に+電圧を入れますと⑤は⑥に対して-として出力されます。)
3. 非反転増幅器として御使用の場合は、①と② (INV-COM) を短絡して③と② (N. INV-COM) 間に信号電圧 ($\pm 15V$ max) を接続してお使いください。(③に+電圧を入れますと⑤は⑥に対して+として出力されます。)
4. AC入力端子 ⑧と⑨ (100VAC INPUT) に AC100V \pm 10% を接続しますとただちに動作状態になります。
5. 電圧増幅度は、正面の調整可変抵抗器 (GAIN) にて 0~10倍 (非反転) または、-5~-15倍 (反転) に可変できます。
6. 負荷の特性によっては、出力にリングング、オーバーシュートが生じることがあります。その場合は、正面の位相補正用トリマー (PHASE) にて調整してください。





- ① PHASE 位相補正調整トリマーコンデンサ
- ② GAIN 電圧増幅度調整可変抵抗器
- ③ 入出力端子台(ネジ M4)